第１０期氷見市久目地域おこし協力隊活動報告　令和８年９月

「くめ空き家マネージャー」



氏名：西田 宏
地域：富山県氷見市久目

自己紹介

【プロフィール】
出身：富山県富山市出身
過去の仕事：介護関係
趣味：釣り、キャンプ、動物



【なぜ久目地区に】
自然により近い場所で生活したいと思い、移住を考えるようになりました。
海も山も近い氷見の自然に魅力を感じ、先輩移住者とのつながりができたことをきっかけに、休日には久目へ遊びに行くようになりました。
そこで感じたのが、「人と自然が魅力的」ということでした。

「人と自然が魅力的だったから、久目に来ました。」

【１年目：地域に溶け込む】



活動拠点の久目地区交流館



資源回収



ふれあいランチ
ロールケーキ作り

久目地区交流館を活動拠点に、幅広い世代の住民と交流し、117名とのつながりを築くことができ、交流を通じて、空き家や除雪など地域課題の生の声を聞けました。

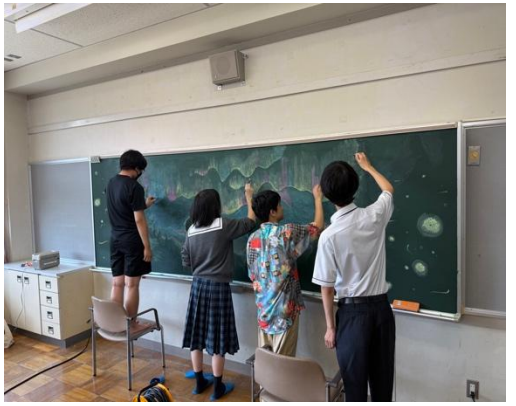
【１年目：久目を知ってもらう】





5/11「スプリングフェス」





8/10「くめアートデイ」



10/12「パンプキン
ワールドカップ」

交流館中心に行われるイベントのサポートをしながら参加者に声をかけたり、チラシを配るなど久目のPR活動を行いました。
16のイベントに参加し、延べ５００名以上の方とお話しすることができました。

【１年目：空き家の調査】

地区名
期世帯数　　実出員：

1.ゼンリンの地図からひろった空き家らしい物件

no	住所（番地）	家の外観の状態	聞き込み情報				
			所有者名	所有者の連絡先	聞いた相手の名前	家のことについて	貸出・売却について
1	岩瀬●●番地	すぐ住めそう	●●　●●		お隣の●●さん	普段は空き家だが、月に1回程度来て畑をしている	貸出等はできない様子
2	岩瀬●●番地	直せば住めそう	●●　●●				
3	岩瀬●●番地	かなり傷んでいる	●●　●●				
4	岩瀬●●番地	住むのは無理	●●　●●				
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							

空き家調査表



２地区調査（１年目）

地区	調査件数	空き家らしい家	すぐ住めそう	直せば住めそう	かなり痛んでいる	住むのは無理	所有者と連絡が取れる
岩瀬	75	23	4	4	8	7	0
触坂	102	17	6	7	3	1	1

年間目標100件に対し、177件の空き家調査を実施しました。
岩瀬・触坂地区を一軒ずつ調査し、「空き家らしい家」40件を特定するとともに、「すぐ住めそう」10件、「直せば住めそう」11件の計21件の活用候補を把握することができました。

【１年目：空き家の活用事例調査】







久目地区交流館に「くめの駅」と名付けて久目を紹介できるコーナーを作り
久目地区の空き家を利活用されている事例を紹介しました。

【１年目：「くめ空き家だより」を発行する】



No.004　2026年 1月1日発行

くめ空き家だより

地域おこし協力隊の西田 宏です😊旧年中はお世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。昨年の12月1日に「空き家管理士」（民間資格）を取得しました。今後は空き家管理を適切に行えるよう活動していきたいと思っております。空き家の管理など困っている方がおられましたらご連絡いただけたらと思います★

１２月より新しい移住者がいらっしゃいました✨

久目の稲刈りも手伝いに
来てくれました🌾

柴田美空（みそら）さん
富山県庁の地域おこし協力隊をされています
★移住するきっかけは？
豊かな自然の中でゆったりと暮らしてみたかったから⛰
★くめの良いところは？
くめの人達は優しく、地域活動も活発に行なっているところ✨
★やってみたいことは？
バイクが好きなのでバイク乗り向けの民泊をやりたい🏍

床を張り替えるDIYワークショップを開催しました🏠

１２月に現在住まわせてもらっている家の脱衣所の床が痛んでいたため、床板を張り替えるワークショップを開催しました★経験者のご協力もあり綺麗に床を張り替えることができました🏠この機会に得た経験を空き家の有効活用に役立たせていきたいです✨皆様ありがとうございました😊

空き家をお持ちの方、空き家を利用したい方、空き家のこと、一緒に考えてみませんか？
第１０期　氷見市　地域おこし協力隊 くめ空き家マネージャー
西田 宏　〒939-0266 氷見市触坂501　久目地区交流館　TEL.0766-76-2202
TEL(個人)090-2555-2769　E-mail:nisidahirosi0317@gmail.com



No.005　2026年 3月1日発行

くめ空き家だより

こんにちは地域おこし協力隊の西田 宏です。久目に移住してきてから初めての冬を経験し、皆様が協力しながら除雪をされている姿を見て心が温かくなりました。２月からは空き家管理士として空き家管理作業も行なっております。空き家でお困りの事がございましたらご相談いただけたらと思います。

空き家管理士として管理作業を行いました🏠

所有者様の依頼を受け、空き家の通風・換気、通水、清掃、庭木、雨漏り、郵便物のチェックなどを行いました。報告書を作成し、気になるところは写真でも確認していただきました。

家の管理のための除雪作業を勉強しました⛄

久目地区社協ではお年寄りの除雪の支援活動をされいます。今回は佐藤さんに同行し、家の管理に伴う除雪機の使用方法や除雪のポイントを教えていただきました。この経験を今後の空き家の有効活用に活かしていきたいと思います✨

空き家をお持ちの方、空き家を利用したい方、空き家のこと、一緒に考えてみませんか？
第１０期　氷見市　地域おこし協力隊 くめ空き家マネージャー
西田 宏　〒939-0266 氷見市触坂501　久目地区交流館　TEL.0766-76-2202
TEL(個人)090-2555-2769　E-mail:nisidahirosi0317@gmail.com

「くめ空き家だより」を計5回発行し、地区住民に配布した。移住者の紹介や空き家のDIY、管理の様子を発信することで、空き家の活用を身近に感じてもらうきっかけづくりを行った。

【2年目：地区内外の人との関係づくり】



環境作りワークショップの様子



交流館でのイベントサポート

久目地区交流館を活動拠点に、地域行事への参加やワークショップの開催を通じて、地区内外の幅広い世代と交流しました。地域の方と一緒に活動する機会を増やし、つながりを深めることができました。

【2年目：空き家だよりを発行する】



No.004　2026年 5月1日発行

くめ空き家だより

地域おこし協力隊の西田 宏です。新緑の季節となりました。いつも空き家の情報提供や管理にご協力いただき、ありがとうございます。久目地区では、空き家を活用して暮らし始める方も少しずつ増えてきました。空き家を探して移住を希望しておられる方もおられます。空き家のことについて、気になることやお困りごとがありましたら、どんなことでもお気軽にご相談ください。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

４月より新しい移住者がいらっしゃいました✨

荒井　志音（しおん）さん
出身地：埼玉県　２６歳
⭐移住するきっかけは？
芸術農民の浅見さんと農業をやりたいため
⭐くめの良いところは？
明るい地域で溶け込みやすいところ
（ご近所さんと食事会もされたとのこと）
⭐やってみたいことは？
農業

除草作業の基本を学ぶワークショップを開催しました🏡✨

先日、空き家・空き地の適切な管理を目的として、除草作業ワークショップを実施しました。当日は、地区の環境整備をされている方のご協力のもと、草刈り機や剪定道具の使い方、機種選びのポイントについて、実践を交えながら学びました。
今後も、空き家・空き地の維持管理に役立つ取り組みを行っていきます。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

空き家をお持ちの方、空き家を利用したい方、空き家のこと、一緒に考えてみませんか？

第１０期　氷見市　地域おこし協力隊 くめ空き家マネージャー
西田 宏　〒935-0266 氷見市触坂501　久目地区交流館　TEL.0766-76-2202
TEL(個人)090-2555-2769　E-mail:nisidahirosi0317@gmail.com



No.007　2026年 7月1日発行

くめ空き家だより

梅雨の季節となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。
私は現在、久目地区の空き家調査や所有者の方との情報交換を進めています。空き家は適切に管理することで、地域の大切な資源として活用することができます。
今後も地域の皆さまと協力しながら、久目地区の空き家活用や移住・定住促進につながる活動を進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

空き家調査を進めています🏠

今年度も空き家の現況確認や登記情報の調査を実施しています。
所有者の方への聞き取りや現地確認を通じて、
- 利活用できる空き家の把握
- 管理に困っている方への相談対応
- 地域内での活用方法の検討

を進めています。
空き家についてお困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

DIYワークショップを開催しました🛠✨

5月・6月に空き家の活用のためのDIYワークショップを開催しました。参加者の皆さまには、
- 床張り
- 壁づくり
- 電動工具の使い方

などを体験していただきました。
古民家を改装してカフェを開業したいという参加者もおられ「楽しく学ぶことができました。」との感想もいただきました。
今後も空き家活用のための体験型イベントを企画していきます。

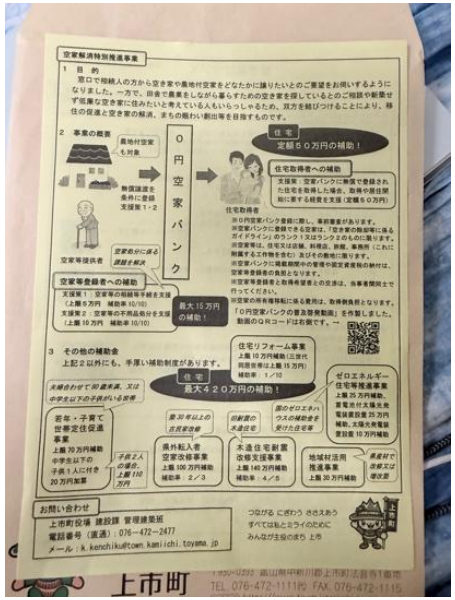
空き家をお持ちの方、空き家を利用したい方、空き家のこと、一緒に考えてみませんか？

第１０期　氷見市　地域おこし協力隊 くめ空き家マネージャー
西田 宏　〒935-0266 氷見市触坂501　久目地区交流館　TEL.0766-76-2202
TEL(個人)090-2555-2769　E-mail:nisidahirosi0317@gmail.com

2年目も「くめ空き家だより」を継続し、月2回のペースで発行しています。
空き家の調査やDIY、管理・活用の取り組みを発信し、地域の方に空き家を身近に感じてもらい、空き家の活用や移住につながるきっかけをつくることを目的としています。

【2年目：活用事例を調査する】







上市町の「0円バンク」を視察し、空き家の所有者と利用希望者をつなぐ仕組みを学びました。

- 納税通知へのチラシ同封などによる物件の掘り起こし
- 通常の売買が難しい空き家の受け皿として活用
- 司法書士の紹介など、契約までの手続きを支援
- 古着店の開業など、移住・起業につながった事例
- 内見では所有者と利用希望者の直接的な関係づくりを重視

こうした事例を参考に、久目でも所有者が空き家を手放しやすく、移住や活用につながる仕組みを検討していきたいです。

【2年目：空き家の管理や片付けにつなげる】



空き家管理の様子



空き家片付けワークショップの様子

　空き家調査を通じて所有者とのつながりをつくり、現在1件の空き家を管理しています。また、別の1件では片付けを行い、不要品の整理・搬出を進めています。

　今後は、所有者とのつながりをさらに広げ、空き家の適正管理と活用につなげていきたいです。

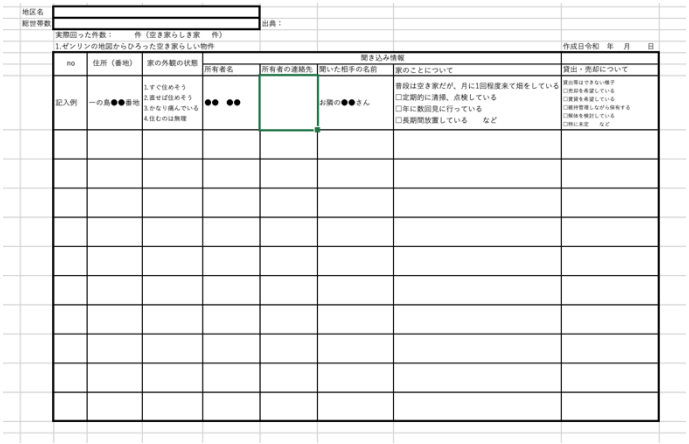
【2年目：空き家の活用方法の検討をする】



DIYワークショップの様子

空き家の管理・活用を進めるために、DIYや修繕作業を実際に行い、必要な知識や技術の習得に取り組んだ。床の張り替えなどの作業を通じて、空き家の状態に応じた修繕方法や作業の進め方を学んだ。また、ワークショップを開催することで、地域の方と一緒に作業する経験も積むことができた。今後は、これまでに身につけた知識や技術を空き家の管理・修繕に活かし、傷んだ空き家を再び活用できる状態にしていきたい。

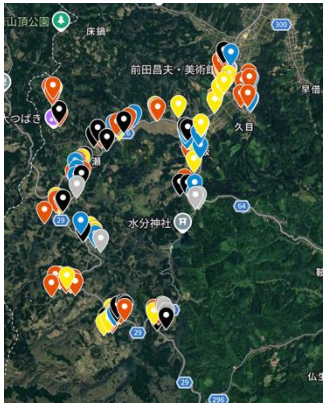
【2年目：空き家情報を整理した】



地区名
総世帯数　　出典：
実際回った件数：　　件（空き家らしき家　件）
1.ゼンリンの地図からひろった空き家らしい物件　　作成日令和　年　月　日

no	住所（番地）	家の外観の状態	聞き込み情報				貸出・売却について
			所有者名	所有者の連絡先	聞いた相手の名前	家のことについて	
記入例	一の良●●番地	1.すぐ住めそう 2.直せば住めそう 3.かなり痛んでいる 4.住むのは無理	●● ●●		お隣の●●さん	普段は空き家だが、月に1回程度来て畑をしている □定期的に清掃、点検している □年に数回見に行っている □長期間放置している　など	貸出・売却について □売却を希望している □賃貸を希望している □維持管理しながら保有する □解体を検討している □特に未定　など

調査表



グーグルマイマップ



調査の様子

11地区調査（2年目）

調査件数	空き家らしい家	すぐ住めそう	直せば住めそう	かなり痛んでいる	住むのは無理	所有者と連絡が取れる
517	126	21	32	45	28	2

1年目に引き続き空き家調査を行い、久目地区全体の11地区を調査しました。
調査データから物件の所在地や状態などの情報、Googleマイマップとして整理しました。
今後は、所有者への連絡や空き家の管理・活用、物件紹介につなげていきたいです。

【今後取り組みたいこと】

① 所有者とのつながりを広げる
調査した空き家の所有者へ連絡し、管理・活用の相談につなげる。
② 空き家管理を進める
所有者からの依頼を受け、5件を目標に管理を進める。
③ 空き家の片付け・修繕を進める
片付けやDIY・修繕を行い、活用できる状態に整える。
④ 空き家の活用につなげる
空き家見学ツアーなどを行い、移住・地域交流などの活用方法を検討する。
⑤ 情報発信を継続する
「くめ空き家だより」などを通じて、空き家の活用事例や活動を発信する。
⑥ 久目地区交流館を中心に関係人口を増やす
地域の方が参加しやすいDIYや環境整備などの活動を続け、人が集まり関わる機会を増やす。

2年間の活動を通じて、空き家の活用には調査や情報整理だけでなく、所有者や地域の方との信頼関係が大切だと感じました。
空き家を「地域の課題」だけでなく、「地域と人をつなぐ資源」として活用していきたいです。